

令和 2年度 事務事業評価シート (令和 1年度分)

(令和 2年 7月 作成)

1 事務事業の基本事項				整理番号	372000-01-15
事務事業名	精神保健福祉事業			担当部課	健康推進部 地域保健課
				電話番号	2966-5513 内線
総合計画 基本計画	施策の大綱	03	ささえあいのまちづくり	実施期間	平成14年 ~ 年
	政策(節)	06	健康づくりの推進	その他の計画	障害者福祉プラン・健康いるま21計画
	施策(項)	01	健康づくりの推進		
予算事業名	精神保健福祉事業			予算事業番号	2984
事務分類	<input type="checkbox"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務のうち任意のもの <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> サービス提供 <input type="checkbox"/> 施設整備 <input type="checkbox"/> 許認可事務 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 内部事務 <input type="checkbox"/> その他				
	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> その他 ()				
事業開始の背景・経緯	精神障害者等が住み慣れた地域で生活していけるよう、グループ活動や家族の集い、自主グループ活動の支援を通して社会的自立の促進を図る。また、病気や障害に対する正しい知識と理解を深め、病気の予防や早期発見を図るとともに、障害の有無に関わらず地域で生活できるよう、普及啓発のための講座等を開催している。				

2 事務事業の目的・内容

対象	精神障害者及びその家族他	実施の根拠 (法令・条例等)	精神保健福祉法・障害者総合支援法・健康増進法
目的 (もたらそうとする成果)	地域で生活する精神障害者等とその家族等に対して安心して集える場を提供し、グループ活動を通じ、社会的自立の促進を図る。地域保健課での事業終了後も継続して活動を行い、自主的な活動が円滑に行えるよう支援する。また、講座等により正しい知識を普及し、病気の早期発見、再発防止に努める。		
全体の事業内容	ソーシャルクラブ(いるまぴあ・家族の集い)のほか、ひきこもり相談、ゲートキーパー養成講座・講演会、自主グループの支援を行う。		

3 事務事業の実施状況と成果

令和 1年度の実施内容	ソーシャルクラブ(いるまぴあ・家族の集い)のほか、統合失調症等の講座、講演会・自主グループの支援を行った。								
区分	活動指標名	区分	単位	平成29年	平成30年	令和 1年	令和 2年	目標値の根拠・考え方 (前年度値の場合は「前年度実績」)	
実施 状況	① ソーシャルクラブ「いるまぴあ」実施回数	目標値又は前年度値	回		20	23	22	前年度実績	
		実績値	回		23	22			
		達成率又は前年度比	%		115	95.65			
	② 普及啓発事業の実施回数	目標値又は前年度値	回			5	5	5	前年度実績
		実績値	回			5	5		
		達成率又は前年度比	%			100	100		
	③	目標値又は前年度値							
		実績値							
		達成率又は前年度比	%						
	④	目標値又は前年度値							
		実績値							
		達成率又は前年度比	%						
区分	成果指標名	区分	単位	平成29年	平成30年	令和 1年	令和 2年	目標値の根拠・考え方 (前年度値の場合は「前年度実績」)	
成果	① ソーシャルクラブ「いるまぴあ」利用人数	目標値又は前年度値	人		67	84	76	前年度実績	
		実績値	人		84	76			
		達成率又は前年度比	%		125.37	90.48			
	② 普及啓発事業の参加人数	目標値又は前年度値	人			286	343	244	前年度実績
		実績値	人			343	244		
		達成率又は前年度比	%			119.93	71.14		

無印は実績値の増大によって達成率が向上するもの
 ※印は実績値の減少によって達成率が向上するもの

4 事業費

区 分			平成29年	平成30年	令和 1年	令和 2年	
経 費	事業費	当初予算額	0 千円	970 千円	805 千円	816 千円	
		決算(見込)額 ①	0 千円	847 千円	776 千円		
	人件費	従事 職員数	一般職・労務職	0 人	2.38 人	3.42 人	
			嘱託・再任用	0 人	0 人	0 人	
			パート等	0 人	0.05 人	0.13 人	
		人件費 ②	0 千円	16,687 千円	23,932 千円		
	総事業費 ③=①+②		0 千円	17,534 千円	24,708 千円		
	国・県支出金 ④		0 千円	0 千円	0 千円		
	その他特定財源 ⑤		0 千円	0 千円	0 千円		
	特定財源 ⑥=④+⑤		0 千円	0 千円	0 千円		
入間市年間負担額 ③-⑥		0 千円	17,534 千円	24,708 千円			
効率性 指 標	指標名	随時相談者数 ⑦	0	2,341 人	1,890 人		
	コスト	訪問一人当たり ③÷⑦	0	7,489 円	13,073 円		
備 考							

5 事務事業の評価

◆ 1次評価

個別評価	必要性	有効性	効率性
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠 <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	<input type="checkbox"/> 大変有効である <input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> あまり有効でない <input type="checkbox"/> 有効でない	<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> やや向上 <input type="checkbox"/> 変わらない <input checked="" type="checkbox"/> やや悪化 <input type="checkbox"/> 悪化
総合的評価	評 価		今 後 の 方 向 性
	精神保健のための随時相談、訪問等を当事者及びその家族に実施した。相談内容が複雑、多岐に渡るため一人一人の支援に多くの時間を要する。また、関係機関と連携を図りながら対応しているが、解決に至らないことも多く、継続的な対応が必要である。		<input type="checkbox"/> 充実 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <hr/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了
改善課題	令和 1年度の取り組み課題		改 善 の 評 価
	専門医によるこころの相談の利用者数が減少傾向にあったため、令和元年度より新たに「引きこもり相談」を開始している。		
	令和 2年度の取り組み課題		<input type="checkbox"/> 改善できた <input checked="" type="checkbox"/> やや改善できた <input type="checkbox"/> 改善できなかった
	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、経済的問題等の生活全体の相談に付随した、精神的問題が増加することが想定されるため、市民の相談に対応できるよう、関係機関との連携を図りながら、相談しやすい体制を整え、相談事業を実施する。		
令和 3年度の取り組み課題			
精神保健のための随時相談、教室、講座等を当事者及びその家族に向け実施する。また、関係機関との連携を図りながら今後も市民が、相談しやすい体制を整え、相談窓口を周知していく。			

◆ 2次評価

総合的評価	今後の方向性	具 体 的 内 容
	<input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <hr/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止	